

# 劇場のような職場になっていませんか？

## スタンフォード監獄実験

これは、1971年、アメリカ・スタンフォード大学で心理学者フィリップ・ジンバルドが行った、人間の性格についての実験です。場所はスタンフォード大学構内で、地下実験室を本物そっくりの刑務所に改造して行われました。

内容は、新聞の公募で21名の被験者（学生アルバイト）を集め、ランダムに看守役と囚人役に分け、2週間の間、彼らにそれぞれの役を演じてもらい、被験者たちの間でどのような変化が起きるのかを調べるといったものでした。

実験開始当初は、どの被験者も、自分たちが与えられた役割に戸惑っていましたが、**実験2日目以降、時間の経過とともに、看守役は本物の看守のように暴力的、支配的に行動するようになり、囚人役の中には、その状況に耐えかねて、実験をリタイヤする者も出てきました。結局、この実験は6日間で打ち切られたのですが、看守役は「話が違う」と実験を続行するように希望したと言われています。**のちの証言記録で、看守役の被験者は**あの時は本来の自分とは別人になっていた**と語っています。

## 立場が変わると人格も変わる？

この実験結果から分かるように、人は誰でも、自分の置かれた立場によって、その**人格さえも変化してしまう可能性**があります。

みなさんの周りでも、日頃は温厚で物静かと思っていた人が、食事に行った先の店員に高圧的な態度や発言をしているのを見たときに違和感を覚えた事はありませんか？

私たちは日頃の業務で様々なご意見を頂きます。お客さまからの「ご意見」に対して、それぞれの立場で考え方や対応は違ってくると思います。しかし、それらの言動は、**自分の立場に求められる考えに忠実に従っているだけで、多くの場合、本心から来るものではありません。**このすれ違いは、お互いが、会社と労働者、本社と現場等別々の視点に立っていることで起こってきます。意見の違いがあってもお互いの「立場」を尊重すれば、パフォーマンス上がり職場環境も向上すると思います。上司や同僚、そして、「立場」に流されないよう自分の「信念」持って働きましょう。

人は、与えられた立場を演じることに気を取られた結果、何が正しいかという意識が希薄になってしまいます。



ミルグラムの実験というのもあります。



# 若い力

第107号

2017年 12月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515